

ワインディングを走ると 何も着けてないよう

さて、今回の私の旅の相棒になつてくれたのは、仕事仲間のアイドルMちゃん。愛車を駆っての参加で、ツーリングは久々なんだとか。うん、じゃあもつと遠くまで走ってみよう！ そんな相談をしたいから、Mちゃんにもセナのインターコムを付けてもらった。

彼女が選んだのは「10U」。なにやら彼女はコダワリのヘルメットだとかで、端末が外側に出っ張っちゃうのはイヤなんだって。うん、それとつてもよく分かる。かっこいいヘルメットはデザインをキーポイントもね。

そんな人にオススメしたいのが、まさにこの「10U」。ヘルメットの内側に全部のインターコムを仕込めるから、外側からはまるでなんにも着けていないように見えるスグレモノだ。Mちゃんみたくオープンフェイスタイプのヘルメットなら、通話のためのマイクが口元にチョロっと出ている、たったそれだけ。フルフェイスだったら、このマイクさえも外からは見えないうちスッキリデザインだ。

じゃ、どうやって端末を操作するの？ と思ふなかれ。ハンドルに取付けるリモコンが付いてくる。このハンドルバーリモコンも、

どんなバイクにも合うようなシンプルでデザインが特徴で、操作用にはジョイスティックとボタンを備えている。もちろんグローブのままでも使い勝手は上々で、手の小さなMちゃんでも操作がカンタン。だから、装着してすぐにスイスイと使いこなしていた。

今回の旅では、せっかく緑のキレイな千葉に来たんだから、とワインディングにも誘ったんだけど、右へ左へと切り返すようなコーナ

まるでなんにも着けていない感じ、だけど実際にはヘルメットの中で「そうそう、そこ曲がって！」「ココですか？」なんて



でも、クラッチ操作を邪魔しないこのハンドルバーリモコンのコンパクト設計には驚いたんだとか。むしろ、手元に操作系が固まっているほうが、ハンドルから手を離さなくてもいいから安心だったみたい。意外な利点アリって感じ？

ただしこの「10U」、特殊なデザインだけにどのヘルメットにもフィットできるワケじゃないから気を付けて！ 対応機種はセナのホームページを確認を。

ヘルメットの姿はそのままに スマートに使えるインターコム

10U

価格：4万2984円 同時通話：4人
通信距離：最大1.6km
※ハンドルバーリモコンを含む



マイクのほうでは音量などの操作が可能。ボタンも少し大きめに設計されていて、コチラもグローブしたまま操作しやすい

ハンドルバーリモコン。10Uには同梱。別売りで販売されているけれど、他のセナ製品で20S、10S、10Cがペアリング可能



セナ公式サイトに登録して 最新情報を入手しよう！

ファームウェアのアップデートで、バージョンアップできるから、マメにチェックしておきたいのが公式のウェブサイト。新製品のチェックも大切だけど、お持ちのインターコム情報の収集もお忘れなく！ セナ正規店から購入された方は、製品本体に記載されている番号で登録でき、最新情報を収集できる



そうです！
シンプルでしょ？

外側からじゃ
見えないんだね！